

保育士等キャリアアップ研修カリキュラム

提案者	一般社団法人保育のデザインアドバンス	ねらい	乳児保育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達に応じた保育を行う力を養い、他の保育士等に乳児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。
研修分野	乳児保育		
総研修時間	15 時間 05 分		
定員	500 名		

研修区分	具体的な研修内容	国のガイドライン	研修時間	講師	研修形態
乳児保育の意義	これまでに解明されてきた乳児の多様な力と、0～2 歳の子どもの具体的な姿を重ね、乳児の世界の捉え方を丁寧に解説している。	乳児保育の意義	130 分	保育 SoW ラボ 井桁 容子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
乳児の発達に応じた保育内容 1	平成 29 年改訂（改定）の指針や要領に示されている重要なキーワード「資質・能力の 3 つの柱」や「養護と教育の一体的な展開」について、事例を用いて丁寧に解説している。	乳児の発達に応じた保育内容	93 分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
乳児の発達に応じた保育内容 2	子どもの発達を、子どもが環境を通して何を体験し、何を考えどんな力を蓄えているのかといった多様な視点で捉えるヒントを、事例を基に解説して。	乳児の発達に応じた保育内容	76 分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
乳児保育の環境	保育の環境を考える時、子どもの姿を丁寧に観てみると、そこにはヒントがあふれている。この單元では、どのような視点で子どもを観るのか、遊びだけでなく、睡眠や食事等の生活も含めて、多様な事例から学ぶ。	乳児保育の環境	131 分	お茶の水女子大学 お茶大アカデミック・プロダクション 宮里 暁美	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
乳児への適切な関わり	乳児保育における生活習慣と保育者の関わりを考える。又、保育者は子どもの感情表現をどのように捉え、関わればよいのかについて解説している。	乳児への適切な関わり	114 分	保育 SoW ラボ 井桁 容子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
乳児保育の指導計画、記録及び評価 1	計画や記録を単に形式的なものにせず、組織として方向性を共有し、子どもの成長に役立つ充実した保育を行うためのツールとして活用するための方法を、実践的に学ぶ。	乳児保育の指導計画、記録及び評価	125 分	東京家政学院大学 現代生活学部児童学科 和田 美香	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
乳児の発達に応じた保育内容 3	小規模な園に限らず、1～2 才合同で保育することの意味を学び、保育活動と安全確保の考え方について、実践の写真を基に学ぶ。	乳児の発達に応じた保育内容	114 分	株式会社保育のデザイン研究所 高城 恵子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
乳児保育の指導計画、記録及び評価 2	保育の記録として写真を撮るためには、どのように撮り、どのように保育に活用するかが重要である。写真から読み取れる子どもの育ちを職員間で共有し合い、共に保育を向上させていくための方法、実践的に学ぶ。	乳児保育の指導計画、記録及び評価	122 分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題

保育士等キャリアアップ研修カリキュラム

提案者	一般社団法人保育のデザインアドバンス	ねらい	幼児教育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた幼児教育を行う力を養い、他の保育士等に幼児教育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。
研修分野	幼児教育		
総研修時間	15 時間 30 分		
定員	500 名		

研修区分	具体的な研修内容	国のガイドライン	研修時間	講師	研修形態
幼児教育の意義	要領・指針には、世界の研究や知見をふまえ、目の前の子どもの「姿」をどのように捉え育んでいくべきか、重要なメッセージが込められているということを解説している。	幼児教育の意義	89 分	白梅学園大学 無藤 隆	講義 (e ラーニング) + 確認問題
幼児の発達に応じた保育内容 1	平成 29 年改訂 (改定) の指針や要領に示されている重要なキーワード「主体的・対話的で深い学び」や「環境を通して行う保育」について、事例を用いて解説している。	幼児の発達に応じた保育内容	59 分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義 + 演習 (e ラーニング) + 確認問題
幼児の発達に応じた保育内容 2	子どもは環境を通して資質・能力を育てており、保育者は 5 領域を通して、子どもの学びを読み取ることが必要なことについて、事例を通して 5 領域、さらに「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を日常的な子どもの姿を基に解説している。	幼児の発達に応じた保育内容	68 分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義 + 演習 (e ラーニング) + 確認問題
幼児の発達に応じた保育内容 3	子どもの豊かな想像力や思いを、私たち保育者は受け止め、保育を行っているか。先入観で保育を行っていないか。改めて保育者のあり方を考えさせられる内容。	幼児の発達に応じた保育内容	168 分	子ども教育宝仙大学 利根川 彰博	講義 + 演習 (e ラーニング) + 確認問題
幼児教育の環境	主体的な活動の中で、子どもが発見し、工夫したり、挑戦したり、試行錯誤するその姿は目を見張るものがある。指針や要領のキーワードと事例を重ねて、環境がいかに、子どもの遊びを豊かにするために重要かということを実証している。	幼児教育の環境	149 分	お茶の水女子大学 お茶大アカデミック・プロダクション 宮里 暁美	講義 + 演習 (e ラーニング) + 確認問題
幼児教育の指導計画、記録及び評価 1	計画や記録は、単に形式的なものではなく、組織として方向性を共有し、子どもの「今」を捉えた記録を基に、より良い保育に向かう PDCA サイクルの中で書いていくものです。この単元は、これまで得てきた幼児教育の知識と保育の実践を結び付け、計画に活かすための手掛かりを示している。	幼児教育の指導計画、記録及び評価	159 分	神戸大学大学院 北野 幸子	講義 + 演習 (e ラーニング) + 確認問題
小学校との接続	小学校のスタートカリキュラム等について学び、自園でできること、保護者との連携等について解説している。	小学校との接続	115 分	明治学院大学 心理学部 松寿 洋子	講義 + 演習 (e ラーニング) + 確認問題
幼児教育の指導計画、記録及び評価 2	子どもの姿から何を捉え、どのように記録するのか。また記録を基にどのような保育を展開していくと、子どもが主体的に育っていくのか。事例を基に、実践的に学ぶ。	幼児教育の指導計画、記録及び評価	75 分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義 + 演習 (e ラーニング) + 確認問題
幼保小架け橋プログラム	架け橋プログラムの背景となる現状や課題について知り、めざしていることやプログラムの概要を理解する。これから取り組むべき内容と取り組むときの考え方を学ぶ。	小学校との接続	48 分	白梅学園大学 無藤 隆	講義 (e ラーニング) + 確認問題

保育士等キャリアアップ研修カリキュラム

提案者	一般社団法人保育のデザインアドバンス	ねらい	障害児保育に関する理解を深め、適切な障害児保育を計画し、個々の子どもの発達に応じた障害児保育を行う力を養い、他の保育士等に障害児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。
研修分野	障害児保育		
総研修時間	15 時間 25 分		
定員	500 名		

研修区分	具体的な研修内容	国のガイドライン	研修時間	講師	研修形態
障害とその支援に関する理解	障害とはなにか。共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育、特別支援教育について、丁寧に解説している。自園の子どもたちを、共生社会の担い手として育むために、保育者は何をなすべきか、ワークを通して具体的に考える。	障害の理解	129 分	国立特別支援教育総合研究所 久保山 茂樹	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
気になる子どもの視点から保育を見直す	気になる子どもへの特別な支援は、一見専門的で難しいのではないかと感じさせる。しかし、一人ひとりの子どもに合ったかわり方を考えていくことは、保育そのもの。具体的な事例を通して、様々なニーズのある子どもへの理解を深めると共に、全ての子どもに対する保育の在り方を見直し、考えるきっかけとなる講座。	障害の理解障害児保育の環境	194 分	国立特別支援教育総合研究所 久保山 茂樹	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
障害児の発達の援助	特別な支援を必要とするお子さんの保育や、保護者との接し方等について、保育者であった講師の体験を事例にあげ、丁寧に解説している。	障害児の発達の援助	172 分	八戸学院大学短期大学部 差波 直樹	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
障害児保育の指導計画、記録及び評価	障害や発達上の課題のある子どもが、他の子ども達と共に育っていくための指導計画の立案から実践、評価までの流れや留意するポイント等を学ぶ。	障害児保育の指導計画、記録及び評価	153 分	仙台白百合女子大学 人間学部 子ども教育学科 三浦 主博	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
気になる子どもの保護者への支援・保護者との協働	保育者は、施設での子どもの状態を話したい。保護者は自分のおもいを話したい。故に、両者の間で、ずれが生じることも多い。保護者の手記や事例を通して、「気になる子どもの保護者のおもいや歴史」を踏まえた保護者支援や、協働について考える。	家庭及び関係機関との連携	158 分	国立特別支援教育総合研究所 久保山 茂樹	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
関係機関との連携	障害のある子どもが他の子どもたちと共に育っていくためには、保育者のインクルーシブなマインドと保護者・専門機関との連携が重要であることを学び、ワークを通し、自園の課題を明確にし、その解決の手立てを探っていく。	家庭及び関係機関との連携	64 分	玉川大学・玉川大学大学院 若月 芳浩	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
医療的ケアが必要な子どもの保育	医療的ケアの定義と法的な基盤や地域における支援体制、施設での体制づくりや保育士等が行うことができる医療的ケアの内容と範囲について学び、医療的ケア児への理解を深める。	障害の理解	55 分	文教大学 教育学部 発達教育課程 二宮 祐子	講義（eラーニング）＋確認問題

保育士等キャリアアップ研修カリキュラム

提案者	一般社団法人保育のデザインアドバンス	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する理解を深め、適切に食育計画の作成と活用ができる力を養う。 ・アレルギー対応に関する理解を深め、適切にアレルギー対応を行うことができる力を養う。 ・他の保育士等に食育・アレルギー対応に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。
研修分野	食育・アレルギー対応		
総研修時間	15 時間 31 分		
定員	500 名		

研修区分	具体的な研修内容	国のガイドライン	研修時間	講師	研修形態
栄養に関する基礎知識	栄養の基礎的概念、食事摂取基準等を解説している。身体発達曲線から発育状態を把握する、調理保育の際の衛生管理を知る等、様々なワークを通して基礎知識を学ぶ。	栄養に関する基礎知識	144 分	東洋大学 福祉社会デザイン学部 太田 百合子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
食育計画の作成と活用 1	保育施設の特性を活かした食育の基本を知り、環境の整備、多職種との連携等について学ぶ。	食育計画の作成と活用	159 分	東洋大学 福祉社会デザイン学部 太田 百合子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
食育計画の作成と活用 2	授乳・離乳の支援ガイドを基に、支援のポイントや発達に即した進め方を学ぶ。 また、保護者が自信をもてる支援の大切さとそのヒントを学ぶ。	食育計画の作成と活用	135 分	東洋大学 福祉社会デザイン学部 太田 百合子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
保育所における食事の提供ガイドライン	ガイドラインが作成された背景と内容を理解し、「食の提供における質の向上のためのチェックリスト」を使って自園の状況を振り返るワークを行う。	保育所における食事の提供ガイドライン	55 分	東洋大学 福祉社会デザイン学部 太田 百合子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
アレルギー疾患の理解	食物アレルギーへの理解を深め、アレルギーを持つ子どもが、他の子どもと同じように安心して楽しく過ごす為に必要なことを解説している。	アレルギー疾患の理解	149 分	昭和大学 医学部 小児科学講座 長谷川 実穂	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
保育所におけるアレルギー対応ガイドライン	ガイドラインを知ることで、マニュアルの根拠を理解することの大切さを解説している。又、緊急対応（アドレナリン自己注射）についても動画で説明している。	保育所におけるアレルギー対応ガイドライン	156 分	昭和大学 医学部 小児科学講座 長谷川 実穂	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
食育計画の作成と活用 3	栽培活動・調理体験の食育計画を作成するワークを通して、食育を取り入れる目的や子どもへの配慮、多様な関係者との連携の大切さ等を学ぶ。又、特別な配慮を要する子ども（体調不良の子どもや障害のある子ども等）への食や栄養に関する対応についても説明。	食育計画の作成と活用	133 分	東洋大学 福祉社会デザイン学部 太田 百合子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題

保育士等キャリアアップ研修カリキュラム

提案者	一般社団法人保育のデザインアドバンス	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・保健衛生に関する理解を深め、適切に保健計画の作成と活用ができる力を養う。 ・安全対策に関する理解を深め、適切な対策を講じることができる力を養う。 ・他の保育士等に保健衛生・安全対策に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。
研修分野	保健衛生・安全対策		
総研修時間	15 時間 35 分		
定員	500 名		

研修区分	具体的な研修内容	国のガイドライン	研修時間	講師	研修形態
保健計画の作成と活用	保健計画を立て活用するには、子どもの生活習慣の現状や健康の課題、各年齢の発達の特徴等を理解しておくことが大切であることを分かりやすく解説している。又、身体計測の正しいやり方や、慢性疾患児等への対応の具体的なヒント等を学ぶ。	保健計画の作成と活用	158 分	東京家政大学 子ども支援学部 子ども支援学科 細井 香	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
保育所における感染症対策ガイドライン 1	感染症を正しく理解し、対処していくために、感染症の基礎知識、予防接種、施設の消毒や衛生管理等について学ぶ。	保育所における感染症対策ガイドライン	105 分	東京家政大学 子ども支援学部 子ども支援学科 細井 香	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
保育所における感染症対策ガイドライン 2	感染症が発生した際、もしくはその疑いがあるときこそ、私たちの冷静な対応が求められる。熱、下痢等よく見られる症状への対応や感染発生から終息までの記録、他機関との連携等について解説している。又、ウィルス性肝炎の子どもの保育についても学ぶ。	保育所における感染症対策ガイドライン / 保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン	159 分	東京家政大学 子ども支援学部 子ども支援学科 細井 香	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
事故防止及び安全管理 1	事件事例の原因を分析するワークで、職員全員が同じ意識で取り組み、対策を考える事の大切さを学ぶ。保育のリスク（事故やケガ等）とリターン（子どもの育ちや学び等）の把握や分析についても解説している。	事故防止及び健康安全管理	111 分	株式会社アイギス 脇 貴志	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン	安全の定義、重大事故の定義を再確認し、ガイドラインを基に 睡眠中、食事中、プール・水遊びの事故防止について学ぶ。自園で重大事故を起こさない為に大切にすべきことは何か…ワークや設問を通して深く考えさせられる構成となっている。	事故防止及び健康安全管理 / 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン	204 分	株式会社アイギス 脇 貴志	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
事故防止及び安全管理 2	自園の子どもと職員を守るために、災害対策の現状を学ぶ。又、備蓄リストを作るワークを通して、被災後にどんな保育を行うか、何が必要か等を想像して災害に備える視点を解説。	事故防止及び健康安全管理	65 分	株式会社アイギス 脇 貴志	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
子どものバス送迎とその安全対策等	置き去りはなぜ起きるのか、その前提の重要性を学ぶ。又、安全対策の手間を検証し、その効果を検証する意味について解説。	事故防止及び健康安全管理	61 分	株式会社アイギス 脇 貴志	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
安全計画	安全計画を策定すること、その計画を実際の保育現場でいかすことについて解説。	事故防止及び健康安全管理	72 分	株式会社アイギス 脇 貴志	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題

保育士等キャリアアップ研修カリキュラム

提案者	一般社団法人保育のデザインアドバンス	ねらい	保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる力を養い、他の保育士等に保護者支援・子育て支援に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。
研修分野	保護者支援・子育て支援		
総研修時間	15 時間 24 分		
定員	500 名		

研修区分	具体的な研修内容	国のガイドライン	研修時間	講師	研修形態
保護者支援・子育て支援の意義	現代の子育てをめぐる課題を多くのデータを踏まえて解説し、保育者が行う子育て支援が子どもの発達のために重要な役割を果たしているということをわかりやすく解説している。子育て支援はなぜ必要か、何のために行うのか、基本となる考えを学ぶ。	保護者支援・子育て支援の意義	124 分	日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 亀崎 美沙子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
保護者に対する相談援助 1	保護者との関わりについて保育所保育指針に書かれていることを基に考えている。ワークでは指針や解説書を自園の状況と重ねながら考えていくことができる。	保護者に対する相談援助	148 分	大阪総合保育大学 大方 美香	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
保護者に対する相談援助 2	子育て支援は日々の保育そのものであることがわかり、保育の場でできることや、工夫できるヒントを見つけることができる。また、保護者の相談についての具体的な手法も学ぶ。	保護者に対する相談援助	128 分	お茶の水女子大学 田尻 さやか	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
保護者に対する相談援助 3	「保護者とどのように話すか」、「どう伝えるか」と、多くの保育者が悩んでいる。事例からコミュニケーションのポイントを学び、ワークを通して、保護者の心持ちを多様な視点で捉えられるよう学んでいく。	保護者に対する相談援助	77 分	株式会社保育のデザイン研究所 高城 恵子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
地域における子育て支援の実際	保育所等には、地域の子育て支援の拠点としての役割があるが、積極的にその役割を担っているところはまだまだ少ない。たくさんのワークを通して、自分たちの園の周辺の状況や、子育て中の家族の思い等を知り、「自分たちにできること」を考える。	地域における子育て支援	130 分	特定非営利活動法人 せたがや子育てネット 松田 妙子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
児童虐待	朝夕、保護者と顔を合わせる機会がある保育施設は、子どもの虐待の早期発見が可能で、早期支援が期待されている。発見・通告・対応の体制を理解し、保育施設の特性を生かした保護者支援を行っていくことの大切さを学ぶ。	虐待予防	124 分	淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 佐藤 まゆみ	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題
関係機関との連携・地域資源の活用	様々な親子の実態がある中で、園が親子と社会をつなぐ役割を担い、様々な地域資源とつながって、包括的にサポートしていくための、たくさんのヒントが得られる。	関係機関との連携・地域資源の活用	193 分	和洋女子大学 矢萩 恭子	講義＋演習（eラーニング）＋確認問題

保育士等キャリアアップ研修カリキュラム

提案者	一般社団法人保育のデザインアドバンス	ねらい	主任保育士の下でミドルリーダーの役割を担う立場に求められる役割と知識を理解し、自園の円滑な運営と保育の質を高めるために必要なマネジメント・リーダーシップの能力を身に付ける。
研修分野	マネジメント		
総研修時間	16時間04分		
定員	500名		

研修区分	具体的な研修内容	国のガイドライン	研修時間	講師	研修形態
マネジメントの理解 1 組織マネジメント	保育施設におけるマネジメントとはどういうことかを知り、組織のマネジメントサイクルの重要性を学ぶ。	マネジメントの理解組 織目標の設定	86分	和洋女子大学 矢藤 誠慈郎	講義＋演習（eラーニング）＋ 確認問題
マネジメントの理解 2 法律ガイド	保育施設での事故や疾病、保護者からのクレームやトラブル、施設での不祥事（現金紛失や情報流出）等の様々な困りごとを弁護士視点で、事例や判例をもとに解説する。	マネジメントの理解	61分	鳥飼総合法律事務所 木元 有香	講義＋演習（eラーニング）＋ 確認問題
マネジメントの理解 3 子どもの人権	子どもの人権と不適切な保育に焦点をあてて、講師の解説とワークを通して自分事として学ぶ。 不適切な保育が起こる背景、理由にも目を向けてその発生を抑えるための方策や発生したときの対応等についても学ぶ。	マネジメントの理解	116分	株式会社保育のデザイン研究所 高城 恵子	講義＋演習（eラーニング）＋ 確認問題
マネジメントの理解 4 個人情報保護	個人情報やプライバシー保護の大切さを、保育施設の事例から、解説する。	マネジメントの理解	46分	株式会社保育のデザイン研究所 高城 恵子	講義＋演習（eラーニング）＋ 確認問題
リーダーシップ	園やクラス等をまとめる立場として、周りの人とどう接するか、どうリーダーシップをとれば良いかを学ぶ。	リーダーシップ	126分	兵庫教育大学 鈴木 正敏	講義＋演習（eラーニング）＋ 確認問題
人材育成 1 園内研修	施設内での園内研修について、テーマや進め方の他、話しやすく意見やアイデアを言い合える雰囲気作り、充実した研修にするための仕掛けや仕組み等、具体的なヒントを解説する。	人材育成	162分	大阪総合保育大学 瀧川 光治	講義＋演習（eラーニング）＋ 確認問題
人材育成 2 保育実習	保育実習の意義と実際を、事例やアンケートを通して学ぶ。	人材育成	119分	東京家政大学 子ども支援学部 子ども支援学科 小櫃 智子	講義＋演習（eラーニング）＋ 確認問題
働きやすい環境づくり 1 部下とのコミュニケーション	部下とのコミュニケーションについての悩みやストレス等、保育施設でありがちな事例を基に学び、ワークで自分の心持ちを知って、分析し整理することを学ぶ。	働きやすい環境づくり	114分	セルフケア・ラーニング 中里 弘樹	講義＋演習（eラーニング）＋ 確認問題
働きやすい環境づくり 2 職員のメンタルヘルス	ワークを通して自分のストレス対処法を知り、ストレス耐性を高める為の方策等を具体的に学ぶ。	働きやすい環境づくり	64分	セルフケア・ラーニング 中里 弘樹	講義＋演習（eラーニング）＋ 確認問題
働きやすい環境づくり 3 労働管理	保育現場に必要な労務の知識（働き方改革の内容を含む）を身に付け、現場に活かすこと。ハラスメントについての知識を身に付け、事業主が講ずべき措置について解説。	働きやすい環境づくり	70分	鳥飼総合法律事務所 木元 有香	講義＋演習（eラーニング）＋ 確認問題

保育士等キャリアアップ研修カリキュラム

提案者	一般社団法人保育のデザインアドバンス	ねらい	子どもに対する理解を深め、保育者が主体的に様々な遊びと環境を通じた保育の展開を行うために必要な能力を身に付ける。
研修分野	保育実践		
総研修時間	16時間 18分		
定員	500名		

研修区分	具体的な研修内容	国のガイドライン	研修時間	講師	研修形態
保育における環境構成、子どもとの関わり方	子どもの安全を守ることは、最も重要であるが、危険を取り除こうとするあまり、遊びが制限されがちな面もある。安全に配慮しながら、豊かな遊びをめざすために、どのように環境を捉え、考えたらよいかを事例をふんだんに用いて解説する。	保育における環境構成 子どもとの関わり方	124分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義＋演習（eラーニング）＋報告書
身体を使った遊び1	子どもの自由な動きが、いかに乳幼児に必要な運動につながっているかを理論的に伝え、運動遊びの指導を事例をあげて伝えている。	身体を使った遊び	128分	東京学芸大学 吉田 伊津美	講義＋演習（eラーニング）＋報告書
身体を使った遊び2	わらべ歌の意義を知り、保育者自身が楽しみながら子どもたちと関わることをめざし、それぞれの年代にふさわしいわらべ歌を、数多く、紹介している。	身体を使った遊び	114分	わらべうた実践家 久津摩 英子	講義＋演習（eラーニング）＋報告書
言葉・音楽を使った遊び1	乳幼児がどのように音や音楽に出会い、感じ、表現しているのかを、事例をあげて解説し、子どもたちの感性を育む音楽指導のあり方を提言している。	言葉・音楽を使った遊び	132分	東京家政学院大学 現代生活部 吉永 早苗	講義＋演習（eラーニング）＋報告書
言葉・音楽を使った遊び2	絵本の意義や魅力を伝え、保育の中で絵本と出会う意味や環境のあり方を解説している。	言葉・音楽を使った遊び	169分	東京家政大学 子ども支援学部 子ども支援学科 野口 隆子	講義＋演習（eラーニング）＋報告書
物を使った遊び1	領域「表現」の意味を伝え、造形表現の事例を基に、ワークを通じて受講者自身が「感じること」「表現すること」の楽しさや大切さを感じられるように構成している。	物を使った遊び	191分	白梅学園短期大学 花原 幹夫	講義＋演習（eラーニング）＋報告書
物を使った遊び2	乳幼児期に自然と関わることの大切さを事例を出して伝え、保育者の援助のあり方を解説している。	物を使った遊び	120分	岐阜聖徳学園大学教育学部 松本 信吾	講義＋演習（eラーニング）＋報告書